

理事長挨拶



理事長
中澤 護朗

理事長に就任し一年が経ちました、会務の運営にあたり試行錯誤を繰返しながら、また皆様のご理解とご協力をいただきながら、無事に実施できましたこと、心より感謝を申し上げます。

さて、7月11日に理事会、7月25日に組合会を開催し、平成25年度の事業報告、歳入歳出決算等の審議事項を全員一致で承認可決をいただきました、組合会議員そして顧問相談役、理事の皆様にはご意見ご協力いただき御礼申し上げます。

ただ、現状は非常に厳しい状態です、歳入歳出決算において単年度収支は1億9千万円の赤字でした、その中身を分析すると高齢化社会による医療費の増加に伴う負担増です、国はその高齢化社会を見込んで、平成24年に【社会保障と税の一体改革】と称しその対策に取り組んできたところですが、医療費の増加カーブに追いつくことができず、その負担を保

険事業者と組合員に担わせる施策を実施しています、その為、当組合に割当てられる後期高齢者支援金、前期高齢者納付金、介護納付金の負担だけでも（補助金、組合員の保険料の収入を差引いても）約5億円の持ち出し（マイナス）になりました。

このように厳しい現況ですが、その対策として、組合員の加入の促進をすすめ収入の増収を図る、治療よりも予防を重視してより一層の療養給付費の削減を図る、その為には保健事業をより充実させるとともに被保険者に対して利用と効果のPRをしていきます、それでも不足の時は保険料の見直し案を皆様に諮る所存です。

執行部としては、国の医療保険制度の改革に常に目を光らせながら、会務運営に対して先手先手と手を打ち健全な会務運営をしていく所存です。

